

第8号様式 (第9条関係)

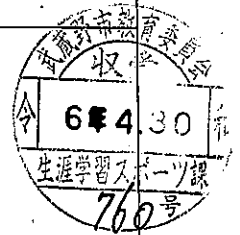
武蔵野市生涯学習事業費補助金事業実績報告書

武蔵野市長 殿

武蔵野市生涯学習事業費補助金の交付決定を受けた事業について、武蔵野市生涯学習事業費補助金交付要綱第9条の規定により、添付書類を添えて、下記のとおり報告します。

記

報告年月日	2024年4月12日
団体名	NPO法人 むさしの市民エネルギー (む〜ソーラー)
代表者の肩書及び氏名	[REDACTED]
事業名称	Z世代 (大学生・高校生) と創る、市内の中学生向けサステナビリティデザイン教育プログラム
事業目的	本プロジェクトは、サステナブルファッションに知見を持つ山口大人氏の協力を得て、対象者と目線が近い、大学生を中心とするZ世代と、市内の中学生を対象にした「サステナブルファッションにおける探求学習プログラム」を作成するワークショップを開催し、市内の公立中学校への水平展開を視野にいたした、事業モデルを作ることを事業目的とした
事業対象 ※主な対象者、定員等を記入すること。	大学生：10名程度 (延べ人数：40名) 中学生：30名程度 (延べ人数：60名)
実施日時 ※日時、時期、期間、時間、回数等を記入すること。	1、大学生向けワークショップ： ① 10/29 13:30-16:30、②11/19 9:30-12:30、③12/16 13:30-16:30、 ④1/20 13:30-16:30 2、中学生 (藤村女子中学校) 向けワークショップ： ①2/7 12:05-12:50、②2/21 13:40-14:25
実施場所 ※施設、会場、地域等を記入すること。	1、大学生向けワークショップ：エコリゾート及び武蔵野プレイス 2、中学生向けワークショップ：藤村女子中学校
参加者から徴収した費用等 ※金額、単位 (人・組・回) 等を記入すること。	無し
事業内容 ※テーマ、形態 (教室・講座・講演会等)、講師・指導者等がある場合はその氏名、略歴等を含めて具体的に記入すること。	1、大学生向けワークショップ： ・講師の山口氏からサステナブルファッションの現状、課題、展望等に関して、大学生にインプット ・上記インプットをベースに、大学生が主体となり、中学生向けプログラムの素案を作成 ・素案に対して、む〜ソーラーと山口氏でブラッシュアップを実施 2、中学生ワークショップ ・大学生が主体となり、上記1で作成した、サステナブルファッションをテーマにした中学生向けプログラムを中学生30名に対して、2週にわたり実施
募集、広報 ※事前申込みの有無、申込方法 (ハガキ・電話等)、ちらし・ポスター・ダイレクトメール等の配付枚数及び配付場所、時期等を具体的に記入すること。	1、Meet むさしのwebサイトやSNS等の介しての告知 2、既知の大学教員、研究室にコンタクトして、個別に告知
成果、効果 ※参加者、実施団体、市等への効果等を記入すること。	企画の目的通り、社会人と大学生 (10人程度) がコラボし、中学生 (藤村女子中学校30名程度) 向けに探求学習プログラムを開発・試行し、「学び送り」の新しいモデルを創出した。試行結果に対して、概ね、中学生



	から高い評価を得られたことから、今後、改善を加えて、サステナビリティ・SDGs教育の範囲の中で、テーマを変えて、探求学習プログラムを作り、プログラムの充実化を図るとともに、市内の公立中学への導入を推進する。
--	---

注

- 1 本様式に書き切れない場合は、別紙（A4サイズ、様式自由）を作成し、添付してください。
- 2 ちらし、当日の資料等があれば添付してください。

添付書類

- 1 武蔵野市生涯学習事業費補助金事業決算書（第9号様式）
- 2 補助事業に係る領収書等
- 3 その他市長が必要と認める書類